

■■メールマガジン「静岡県防災」第15号■■

本県でも揺れや津波で甚大な被害発生！！（関東大震災 その2）

●「大正関東地震」の震源域

大正関東地震による災害は、その被害が甚大なことから「関東大震災」と呼ばれています。この地震は、相模トラフ沿いで、「北米プレート」の下に「フィリピン海プレート」がもぐりこむことによって起きた海溝型の地震です。震源域は東京ではなく、相模湾を中心に神奈川県中西部から房総半島南端部までの広い範囲と推定されています。

●本県でも大きな被害が発生

地震の揺れや津波による甚大な被害は、東京都ばかりでなく、神奈川県、千葉県のほか、本県でも発生しています。死者・行方不明者は、首都圏を中心に、合計105,385名のぼり、東京都で70,387名、神奈川県で32,838名、千葉県で1,346名などと甚大な人的被害です。静岡県でも444名が犠牲となり、その内訳は、流出・埋没171名、住家全潰150名、工場等の被害123名です。

特に、震源域に最も近い熱海市と伊東市では、死者・行方不明者が217名で、その多くが津波によるものでした。当時の状況について調査した資料では、熱海市で6mほど、伊東市で3m余の津波が襲ったと記されています。また、当時の「宇佐美尋常高等小学校」の児童が書いた作文集「こわかった地震津波」の復刻版が2012年に伊東市から発行されています。そちらもご参照ください。

●「相模トラフ」での海溝型地震

静岡県では、第4次地震被害想定として、今後起こりうる「相模トラフ沿いで発生する地震の地震動・津波浸水想定」を公表しています。そのうち、発生頻度が比較的高く、これまでも繰り返し発生してきた地震（レベル1）の想定地震として、大正型関東地震（マグニチュード8.2）と同程度の地震・津波が起こるとしています。

詳しい情報は、県ホームページや静岡県GIS（統合基盤地理情報システム）をご覧ください。また、総合防災アプリ「静岡県防災」の「現在地の防災情報」では各地点の津波浸水想定も確認できますので是非、ご活用ください。

【参考リンク】

・相模トラフ沿いで発生する地震の地震動・津波浸水想定

<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/4higaisoutei/shiryou.html>

・静岡県GIS（統合基盤地理情報システム）

<https://www.gis.pref.shizuoka.jp/>

【参考文献】「関東大震災を歩く」現代に生きる災害の記憶 武村雅之 著